



## 家庭児童相談室の窓から

携帯電話はわたしたちの生活になくなくてはならないものになりました。個人と個人をつなぐツールなので、家族の関係にも少なからぬ変化をもたらしているようです。

夫婦の不信の発端がパートナーのメールを勝手に見たことから始まったというのはよく聞く話ですが、電話をしても出ない、何度も電話がかかる、メールを送ったのに返信がない、メール内容に傷ついた等、携帯電話をめぐっての怒り、不満、誤解、行き違いが不和を拡大させることも珍しくありません。一方で、会話がほとんど無いような関係であっても、必要なことはメールで連絡しあうことで、問題を最小限に抑えている人もいます。今や家族の問題では、その家庭のなかで携帯電話

がどう使われているかを確認することが欠かせなくなっていると感じています。

子どもと別れて暮らしている親が子どもと面接交渉を続けるのは難しいと言われます。離婚した元夫婦が、離婚後も連絡を取り合えるような関係を保つことが簡単ではないことは確かでしょう。とはいえ、電話で話すのはイヤだけれど、メールならいいということもありますので、携帯電話の登場は面接交渉のハードルを少し下げたのではないのでしょうか。子どもが携帯電話を持っていれば、直接連絡することもできるようになりました。

いずれにせよ、使い方次第でハラスメントにもなり、絆を強めることにもなる携帯電話。「家族割引」で契約する前に、家族のなかでルールやマナーを話し合う必要があります。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室のご案内  
あなたの安えに…  
家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて  
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが  
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 休曜日10:00~15:00 / 営業日10:00~15:00  
(12:00~13:00は昼休み)  
基本無料、初診日は料金が、費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 守弘仁志 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。